

社友会だより

第 32 号

発行 センツウ社友会
住所 神奈川県川崎市麻生区上麻生 2-35-16
〒215-0021 平野昌明 内
編集者 大場省平

* 新年のご挨拶 *

社友会会長 法安忠美

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



去年は、国内外において、私どもの世界観を変えさせるような諸々の事象が出来ました。特に国内においては、未曾有の東日本大震災及びこれに因る原発事故発生に

加えて、近畿南部地方を中心とする集中豪雨等で甚大な被害を被り、我が国の政治・経済に多大な損失と影響をもたらしております。関係機関の努力により、被災地の復旧、復興の一日も早やからんことを祈ります。

東日本大震災の被災地に対する本会からの義捐金は、先にお知らせした通り、日赤を通じ謹呈致しました。

さて、わが社友会運営の現状であります。概ね順調に推移、進捗しております。これも偏に皆様方のご支援の賜でありまして、厚くお礼申し上げます。

組織運営の面におきましても、各支部組織も機能しつつあり、連帯感、一体感が更に進み、全国区定着化も今一步のところまでに来ております。

役員諸氏の取り組みも順調で、申し分ありません。表裏をなす会員の皆様のご鞭撻と併せて感謝しております。

ホームページも、創刊以来の全会報閲覧可能、フォトギャラリーの充実等、会員相互のコミュニケーションの場が広くなりました。

三回目となる昨年暮の「同窓の集い」も、各地でほぼ同時期に盛大に行うことができました。素晴らしいことです。是非継続しましょう。

課題もあります。会員の増強です。他社に行かれた現役の皆さんの苦渋の選択も理解できないことはありませんが、私共ももっと丁寧に説明して、入会の勧奨を進めなければなりません。

会報への投稿をお願いします。中身は問いません、会員交流、情報交換の場として、お気軽にご活用下さい。

同好クラブがもっと欲しい、動きも活発になって欲しいと願うのは、皆様同じだと思います。頑張りましょう。本会設置の目的である「福祉」の大きな目玉でありますから。

本年暮れには、本会創設二十五周年を迎えます。何らかの行事を企画したいと考えております。皆様のご提案をお待ちしております。例えば、センツウ時代での思い出の写真等たくさんお持ちと思います、是非お貸し下さい。フィルムとして、供覧、保存します。

皆様の変わらぬご支援、ご協力を期待しながら、引き続き前向きに取り組んでまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。

終わりになりましたが、皆様にとりまして、今年 1 年がよい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

【第 3 回センツウ同窓の集い】 各地で盛大に開催

センツウをいつまでも忘れないとの思いから、センツウ創立記念日 12 月 1 日前後に全国各地で始まった「センツウ同窓の集い」今年で 3 回目となりますが、6 地域 126 名が参加、盛大に開催された。先輩、後輩が其々酒を酌み交わし語りあいました、各地の開催模様を、各地のレポーターさんの協力を得まして特集いたしました。

中央地区

平成 23 年 12 月 3 日 (土) 12:00 から、東京都港区浜松町のシーサイドホテルに於いて、「第 3 回センツウ同窓の集い」が開催された。

当日は、朝から雨模様の中、53 名の方々が参加され、ホテルのロビーには、30 分前から集まり初め、早くもロビー外交? が繰り広げられた。

開会前に恒例の記念写真の撮影を、今年も林 稔さんをお願いし無時終了。早速、隣の宴会場に移動、既に会場内は、参加者の近況を語り合う等、開催を待ちあびる姿で溢れていた。

司会者、園田敏雄さんから、「第 3 回センツウの集い」を開催する。固くならず明るく楽しく、センツウの仲間と集う時間を楽しんで下さい。との開催に向けての挨拶があった。

初めに、社友会会長の法安忠美さんに、挨拶をお願いした。

法安会長から、会社が幕を降ろしてからまる 3 年、この「同窓の集い」も 3 回目となりますが、会社の終了にあわせて創立記念日がなくなっ



てしまうのは如何にも寂しい。そこで、これまでの12月1日の創立記念日前後に合わせて集いを開き、諸々のことを語り継ぎたいとの思いから、全国のOBの皆さんにお諮りし、実施しておる次第です。センツウが閉じられたことにより全ての方がOBとなりますから、この全ての方が集り大いに語り継ごうではありませんか。

今日は、現役OBの方があまりお見えになっていないのが残念です。他社に行かれて大変ご苦労されていることは私もよく存じております。私共のOBが手を差し伸べるのがあまりできません。これも止むを得ないことでありますが、折に触れ、皆様方も現役OBの諸君に励ましのお声をかけて頂きたいと存じます。

現役OBの方々が出席できる環境づくりが求められております。皆さんのお知恵を拝借しながら色々工夫して、現下の重圧を少しでも和らげられることができたらと思っております。

続いて、乾杯のご発声を湯沢重夫様にお願いし壇上にお上がり頂きましたが、懇親会の開催時間があまり早



かったため、乾杯用のビールが間に合わず、その間、思い出を語って頂きました。会社が終わると行くぞーと言って、先頭に立って、飲み屋に飛び込んで行った僕がね、88才まで元気でここに立

って乾杯をやるなんて考えられませんか。だからね、ご参加の皆さん、職場での思い出の多いお友達とこうやって元気に参加できそれがまた楽しく語り合える思い出を祝して乾杯したい。"大きな声で乾杯、"

乾杯の後、会場内はBGMが流れ、しばしご歓談となりました。

歓談の途中、司会者から、本日初めて参加されました方に近況を語って頂きたい。中国から戻ってきた多胡さんをお願いします。

多胡さん挨拶・・・改めて自己紹介させていただきます。



1957年(昭和32年)生まれの多胡と申します。船舶通信には群馬から久保君と入りますが、それは立派な優秀な人間でした。今もその面影があると思う人は「拍手」をお願いします。

「殆んどは拍手なし」実は、

広島の方には、2年2か月前に単身赴任で行きました。流川等遊び場があり、これから遊ぼうかなーと思った矢先に帰ることになり残念です。今後ともよろしく。

続いて、昨年全国の開催状況について、スクリーンに写真を投影し紹介。中央地区、東北地区、中部地区、関西地区、九州地区と、集合写真、受付、乾杯、懇親会、其々の挨拶の状況が写し出されると拍手が起こった。

センツウホームページ担当の菅原さんから、ホームページへのログイン方法、掲載内容等、スクリーンに投影しながら具体的な説明を行い、利用促進を要請しました。

昨年に続いて、BGMの流れる中、センツウの過去の映像がスクリーンに写し出されると、皆さん、ビール片

手に見入っていました。司会者から、この映像は、本山健勝さんが集めた写真を取りまとめ、作製したものです。



皆様の手持ちの写真(社内のイベント、旅行等)あればもっと楽しい思い出となりますので、ご提供をお願いしますとコメントしていました。

中締めの前に、本日の集いを設営して下さった

方々に挨拶をお願い。

本山健勝さんから、ドコモモバイル群馬テクノセンターに単身赴任3年目を迎えております。来年は、集いに投影する映像を新バージョンにしたい。

中野博幸さんは、ドコモモバイル赤坂で、元首都圏支店と同じ仕事をしています。来年もよろしく。



松原繁弘さんからは、川崎センターに勤めさせて頂いており、体だけが取りえです。

最後に、本締めを、本日、紅一点の川端恵美子さんをお願いします。

川端さんから、本日、紅一点で、最年少と言うことで恐縮ですが挨拶させていただきます。

私が入社したのは、平成7年(1995年)在籍年数は13年で、現在はドコモモバイルに所属しています。

入社して10数年間、皆様にご指導いただいて自分の中でとっても好きな会社でした。センツウの名前がなくなると寂しいですが、こうやって会に参加させて頂いて皆様とお話ができましたことに感謝しております。



これからも、「センツウの集い」が続いていきますようお祈りすると共に、皆様もご自愛いただき、来年お会い出来ますよう一本締めで締めさせていただきます。



2011.センツウ同窓の集い、中央地区

東北地区

平成23年12月1日18:30から、仙台市内の駅前酒場にて、東北OB会メンバー13名、準OB会メンバー等総勢14名で開催した。

OB会メンバーの中で12名が仙台近郊在住ですが、岩手県在住の高橋利彰さんも駆けつけてくれました

た。また、東北出身で千葉在住の大井さんも飛び入り参加してくれ、昔話に花が咲きました。お酒だけではつまらないと、我妻さんがゲームを計画してくれ、「ビンゴ」



ゲームや 500円争奪「じゃんけん大会」で勝者1名が独り占め等を行い盛り上がりました。

散会後は、皆さん離れがたく二次会へ行き、その後はカラオケまでとお決まりのコースをたどりました。

来年は、東北出身者、所長、支店長経験者の飛び入り参加をお待ちしています。
【レポート 瀬林義昭さん】

中部地区

平成24年1月6日(土) 12:00～「ごはんダイニングほっこりルーセント(ルーセントタワー)に於いて、開催した。



初めに、幹事から社友会会員吉田幸夫氏が逝去されたご冥福をお祈りし、旨を告げた後、開催した。

今年も北陸、静岡、三重、また、神戸からも

参加を頂き、多くの社友会会員及び現役の方々17名が参加し、会を追うごとに充実しつつあります。との謝辞があり、本田支部長より開会の挨拶とともに来年の1泊2日の旅行は、能登半島に決まりましたので、多数の参加を要請した。

佐藤さんの乾杯の音頭で和らいだ雰囲気では



始まり、近況報告や行事等の様々な情報交換が行われ、話が進むごとに話の花が咲き久しぶりに会う先輩、後輩の姿に変化したことへの驚き、未だ変わらないことへの驚き等、あちらこちらでの笑いが生まれ、直接集えることによって生かされる新しい縁への喜びが得られ、盛会のうちに時間も過ぎました。

くも膜下出血の危機から奇跡の生還された栗田さんより、来年も元気で会えることを願うとの言葉で閉会、記念写真撮影後に散会となりました。

【レポート 奥田賢司さん】

阪神地区

平成23年11月26日(土)、昨年と同じ場所(神戸市中央区の老房)で開催しました。

前回の経験から、東海・北陸の方々にも参加しやすいように、全国で開催より少し早めに企画したところ、東海から本田さん、北陸から古家さん・戸田さんも参加していただき、懐かしい話で楽しい集いとなりました。

開催の挨拶は、阪神支部長により行い、まず支部長交代の経緯等の話から、ご出席の方々の事後承諾をいただきました。微力ながら、富田事務局長と力を合わせて遂行することとなりました。

神戸の中華の老舗の味を味わいながら、ビールからいつの間にか美味しい紹興酒や焼酎を飲みながら、近況報告や健康のことで、ワイワイ・ガヤガヤと、いろんなグループでの話となっていました。

懇親中に、富田さんの発案で、ワンペーパーに近況や同窓の集いへの注文等を記入して頂き、後日取りまとめて、集いに参加できなかった方へ楽しい同窓の集いを報告することとしました。

特に、最高齢者の高雄さんから「毎年、この集いで皆様と会えるのを楽しみにして、日々健康第一と考えています。」と言って頂いたことは、大変いいことを教えていただきました。(常に健康第一であれば、何事も楽しく出来る。)

他社へ移られた方々からも、年1回の集いが楽しみとのあたたかい声もあり、女性では、細川さん一人でしたので、これからは複数の方の参加を勧めていきたいと思っています。(女性の方々、次回は是非とも参加して下さいね。)

今回、病気療養中の方が8名もおられ、高雄さんのお話にありました「健康第一」を守り、次回の「同窓の集い」を企画していきたいと思っています。

会の終了時間が近づき、中締めを若手の川村さん



に担当して頂き、時間ぎりぎりまで飲みました。

飲みたらない方々から、次コールがあり、いつもの飲み屋へ直行して、話とお酒を楽しみました。

来年は、東海・北陸の計画で、能登半島の一泊旅行の話もでており、年が変わって連絡を頂くこととなりました。 {レポート 上中 健さん}

中四国九州地区

平成 23 年 12 月 2 日 (金) 中四国九州地域「センツウの集い」が旧センツウビルの「MARRY GOLD」で開催された。

この会場で開かれるのは 4 回目となり、ややマンネリのためか過去最少の 20 名で開催された。

遠くは、四国から濱本さん、大川さん、また、中国より山口さん、高橋さんの 4 名、そして九州地域、福岡から北九州に散らばる有志達がこの日を待ち望み、10 年振り、5 年振りの同窓生の出席もあり、会場は大いに盛り上がった。

今回のプログラムはまず、1. センツウ再編後の後輩の活躍状況 (各地域から報告)、2. センツウ 60 周年記念事業に思い出の写真提供 PR、3. これまでの DVD を楽しむ、4. アンケート結果発表である。

今年はセンツウの再編から丸 3 年が経っていることもあり、後輩の活躍状況や、消息が気になる時期かと思い、中四国九州地域の状況を各地位の代表に発表して頂いた。無論、個人情報となるものは割愛して発表してもらった。

○地域情報は会社が変わったこともあり、なかなか訪問し難く、情報を聞き出しにくい状況でありましたが、懐かしい仲間が其々成長している様子が報告され、良い情報交換が出来たと思います。

○来年はセンツウ 60 周年の節目の年になり、懐かしい写真を探していることをアピールするために短編の PR 用 DVD 「センツウの思い出」(九州の社内旅行。岸壁電話作業、大積寮、社内スポーツ大会等) の写真を利用し作成した映像を上映した。

引き続き、昨年、中央から送付していただいた DVD (昨年は、プレイヤーの不調により完全上映出来ず) を今回上映したが、丁度その頃、会場は、絶好調の雰囲気でも盛り上がっていたため、懐かしいシーンも素通りだったのではと思いつつも無事、完全上映出来た。

○昨年の「センツウの集い」の出席者に、ハガキによるアンケート「開催時期 (曜日含む)、開催場所、

会の運営一般を質問」を依頼しておりましたが、その集計結果 (回収率 44%) が出たので報告した。

開催日 (曜日) に対しては、金曜日より土曜日の要望が多く出されが、現在の会場は土日の開催が不可能 (土日祝日は、結婚式の予約) なため、思い出のセンツウビルをとるか (アンケートでは、思い出の門司港が多い) 会場を変更して土曜日開催とするか、難しいアンケート結果でした。

{レポート 松崎繁行さん}



”23 年秋季ゴルフコンペ開催 平林正夫さん優勝

平成 23 年 10 月 26 日 (水) クリアビュー CC に於いて恒例のゴルフコンペが開催されました。

今回は、22 年秋季コンペ、23 年春季コンペともに中止されたため、1 年半ぶりの開催となりましたが、当日は好天で爽やかな秋空のもと、絶好のゴルフ日和に恵まれ、穏やかな中で熱戦が繰り広げられました。

また、長年積み上げてきたハンディの見直しを行うこととなり、新ペリア方式により成果を競い合った結果、平林正夫さんがネット 71.6 で優勝されました。ちなみに当日のベスグロは常連の阿部正一さんがグロス 85 で獲得しました。

参加された方々と入賞された方は次のとおりです。

「参加者指名 (スタート順・敬称略)」

- 1 組…阿部正一・足助 正・濱田 治
- 2 組…法安忠美・菅原和夫・黒田繁雄
- 3 組…林 憲男・加藤恒男・沖本良平・山形剛士
- 4 組…平林正夫・園田敏雄・菅原志郎

「入賞された方々 (敬称略)」

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット・その他
優勝	平林正夫	92	20.4	71.6 NP
二位	山形剛士	100	27.6	72.4 DC
三位	菅原和夫	98	25.2	72.8

「優勝された平林正夫さんの喜びの声」

メンバー、天候、ハンディ等々に恵まれ、思いがけなく優勝させて頂くことが出来、大変嬉しく思っています。大会当日は、久しぶりに諸先輩方々にお会いでき、楽しくプレー出来たことが良い結果となりました。特に驚いたことは、今大会のメンバーに 80 才越えの方が 2 名含まれていたことです。80 才を過ぎてもプレー出来る素晴らしさに感動しました。私が 80 才になった時、果たしてゴルフを続けていられるだろうかと思うと、健康の大切さを痛感しました。また、次回 (半年先) となりますが、皆さんと元気な姿でお会い出来ることを楽しみにしております。有難うございました。

「ゴルフ担当事務局より」

事務局を沖本さんから濱田に引き継ぐことになりました。沖本さんには、社友会ゴルフコンペ開始当初から永きに亘り大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。

次回 (春季大会) の開催は、24 年 5 月 24 日 (木) を予定しております。 {レポート 濱田 治さん}

お悔み

和田忠則様 平成 23 年 12 月 20 日 享年 72 才
謹んでお悔やみ申し上げます。

